

留学生受け入れ直前！ 住まい整備勉強会

～生徒受け入れ前にやっておくべきこと？1年目ならではの大変さって？～

令和7年1月29日(水)16:00～ 17:00
一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
地域みらい留学 住まいチーム

時間	内容
16:00-16:20(20分)	・生徒受け入れ前に準備をしておくべきこと ・生徒受け入れ1年目に変だったこと
16:20-17:00(40分)	・質疑応答

入寮する生徒や保護者の方にとって…



安心・安全な住まいにするために、受け入れまでに何を準備する必要があるか分かる

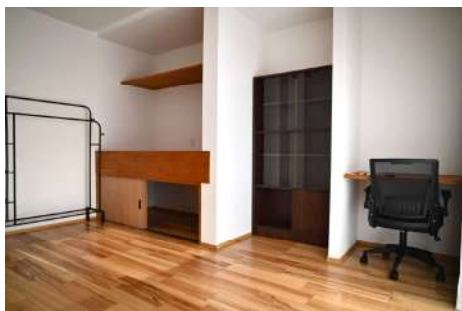
自治体・学校のみなさんが…



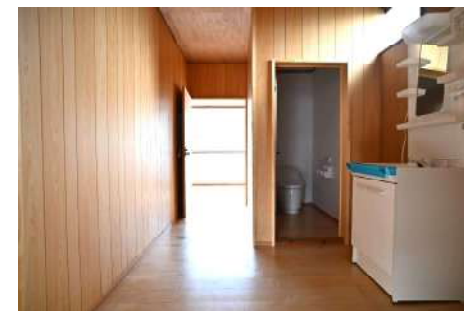
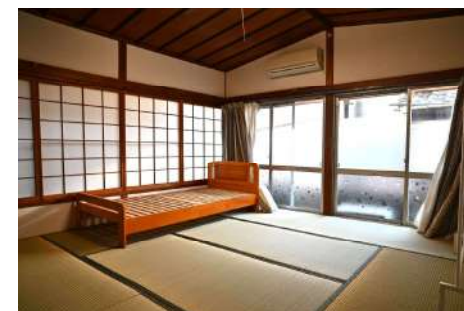
安心して生徒を受け入れることができる

ありこやプロジェクト:ハード面の整備

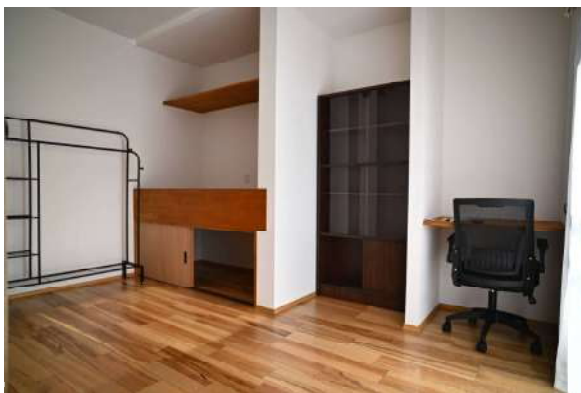
ありこや@しらかわ(男子棟)



ありこや@ほかおやま(女子棟)



住まい(男子寮:定員4名)



個室



共有スペース



風呂



個室



台所



トイレ

住まい(女子寮:定員5名)



個室



共有スペース



風呂



個室



台所



トイレ

①見守り業務

- **食事と健康面の声かけ（毎日夕方ごろ）**
LINEワークスによるアンケートの依頼と確認
声かけの結果を日誌に入力
- **地域みらい留学生の自宅訪問（1回／週）**
自宅を訪問し、日々の声かけの結果と齟齬がないかを
確認
- **地域みらい留学生の個別面談（2回／月）**
日々の生活の楽しい点や困っている点をヒアリング
し、報告書に入力
- **保護者への報告（随時）**
各種情報提供や事業全体に関する協議
- **学校との情報共有（随時）**
日誌や訪問記録の共有を行い、学校での生活状況との
すり合わせ
- **緊急時の1次対応**
学校外での体調不良時や事件・事故発生時の1次対応
として現地へ駆けつけ、生徒をサポート
- **県への報告（1回／月）**
上記の業務に関する報告書を作成し、メールで報告

②寮運営業務

- **寮の維持管理**
建物としての管理（清掃フォロー、修繕箇所の修理な
ど安全に暮らせる状態にする）
- **電気、ガス、水道、インターネット環境の整備**
契約更新や不具合があった時の対応
- **家具家電整備、消耗品整備・補充**
家具や家電に不具合があった時の対応や、調味料、日
用品等の消耗品の管理と補充
- **平日夕の食事提供(おかずのみ)**
飲食店との連絡調整や配達の手配、支払いの管理
- **緊急時の対応**
ハウスマスターによる1次対応ののち、通常の生活に
戻れるまでのサポート
- **イベントの開催や入寮生の生活サポート**
定期的な地域との交流イベントの企画運営や、その他
入寮生のフォロー
- **契約手続きなど**
契約や支払い、その他入居時に必要な書類の作成等
に関する事務手続き



学校



校長



教頭



主幹教諭
(地域みらい留学担当)



学校魅力化
コーディネーター

資源：
地域みらい留学、学校運営協議会



行政

地域みらい留学の参画費用や住まいの整備補助を行うよ！

資源：
佐賀県：唯一無二の誇り高き学校
づくりプロジェクト
有田町：生徒への生活費支援



佐賀県教育振興課
課長・副課長・係長・担当



有田町まちづくり課
担当



寮

所在地：佐賀県有田町
寮の名称：ありこや



運営主体
合同会社NOWA



事務局
マネージャー (1)
スタッフ (1)



ハウスマスター
マネージャー (1)
スタッフ (2)



寮監 (2)
ハウスマスターを兼務

役割

入退寮管理

学校との連絡

健康管理・緊急時対応

保護者との連絡

食事提供

寮生交流

地域交流

施設の維持



民間企業

夜間の緊急
対応する
よ！



訪問看護ス
テーション
さん

平日の夕食
つくるよ！



飲食店さん

寮の修繕は
任せて！



工務店さん

地域との間禁ぎは
任せて！



灯す屋さん



地域

絵付け体験
するよ！



有田焼
絵付け師さん

高校生も
きてね！



子ども
食堂の方

有田焼の文
様の色塗りワ
ークショップす
るよ！



デザイナー
さん

地域との交流イベントの実
施を支援するよ！



県議員



町議員

生徒受け入れまでのチェックリスト

【住まいの環境について】

- ・住まいの建物が準備できている(電気、ガス、インターネット、その他備品など含めて)
- ・食事の提供方法が決まっている

【契約・規則について】

- ・入寮にあたり生徒と結ぶ契約書類が準備されている
- ・入寮と退寮の規程が整備されている
- ・寮則がある(門限、禁止事項など)

【コミュニケーションについて】

- ・保護者、学校、生徒との連絡方法が決まっている
- ・緊急時(体調不良、事件、事故、火災、災害)の対応の流れが決まっている
- ・緊急時や寮内のトラブルが発生したときに、誰が、どのように意思決定をするか決まっている
- ・町内会、自治会などがある場合は、寮の対応をどうするか決まっている

1年目大変だったこと

・生徒の健康状態の把握

→保険証がない状態での体調不良の発生、既往歴や健康管理の基本情報の把握不足

・保護者からの要望

→保護者からの要望にどこまで答えるか、できること・できないことの整理ができていなかった

・緊急時の対応の程度が目線が合わせられていなかった

→人によっては細やかなフォローをする場合も

→緊急時の対応を一次対応、二次対応にわけて対応

・メディア掲載

→メディア掲載がある場合の確認事項の整理ができていなかった。生徒の住居について開示する情報の線引きができていなかった。

・カビ対策

→空き家を活用したが、エリアとして湿気がたまりやすいことがわかった

→清掃、除湿機、換気などで対応

・ハウスマスターの関わり方の指標

→どこまで踏み込んでいいのか、生徒とどんな関わり方をするのがいいのか

→ハウスマスターの月例をもって、そのなかでハウスマスターの”関わり方”や”在り方”を整理

そのほか、今年度運営してわかったこと

- ・寮運営では、その時々への対応方法を検討する必要がある
→「意思決定をする会議体」と「意思決定者」を決めておくことが大事
- ・役割によって対応する相手をわけておいたほうがいい
→体外的な対応（学校、保護者、行政）は事務局
→寮内の対応（生徒）はハウスマスター

1 前提となる考え方

見守り業務の目的

- 本業務は、佐賀県内の高校へ入学を希望する生徒に対し、日常生活全般への配慮を充実させることで、生徒が安心して高校生活を送れるようサポート体制を構築することを目的とし、佐賀県が合同会社NOWAに業務委託する。

見守り業務の内容

- 夕方の声かけ及び生徒日誌の作成、個別面談の実施及び記録
- 緊急時支援者が対応できない場合の体調不良時及び緊急時の対応・記録
- 学校との連絡調整及び記録、保護者との連絡調整及び記録

見守り業務の前提としてご理解いただきたいこと

- 生徒に関する第一義的な責任は保護者にあること
- 見守りプロジェクトメンバーは上記の見守り業務以外の業務は基本的には行わないこと（例：生活習慣の指導・監督等）
- 欠席連絡等生徒に関する学校への連絡は保護者が行うこと
- 緊急時の一次対応を行った後のサポートについては基本的には緊急時支援者に相談すること
- 緊急時の一次対応における判断は基本的に病院及び見守りプロジェクトメンバーに委ねること
 - 病院の選定（希望がある場合は事前に伝えておく）
 - 服薬等の判断（基本的に通院先の病院の判断、指示を最優先とし守る）
- 見守りプロジェクトメンバーは緊急時に保護者の代わりにはなれないこと

2 業務内容：見守り業務（対象：見守りを希望されるすべての地域みらい留学生）

お引き受けできること

- **毎日の健康状況の把握**
LINEワークスによるアンケートの依頼と確認
声かけの結果を日誌へ記入
- **生活の様子の把握**
個別訪問、個別面談による、日々の生活の充実感や困りごとのヒアリング
ヒアリングの結果を日誌へ記入
- **緊急時の一次対応**
マネージャーが「緊急時」と判断した際の病
気、怪我に関する初診の送迎、同伴、それに
付随するサポート（買い物等）
- **保護者への報告**
毎月翌月中旬の日誌の送付と、緊急時の対応
開始時、終了時の連絡

お引き受けできないこと

- **健康状況の把握以上の指導や監督**
衛生管理の徹底や生活態度の改善などについ
ての指導や監督
- **保護者さんからの連絡事項の伝達**
親子間でのトラブル等により連絡が取りづら
い場合における連絡事項の伝達
- **保護者さんへのこまめな情報共有**
日々の状況について、緊急と判断した時以外
のこまめな情報の共有
- **緊急時の学校等への連絡**
ハウスマスターも学校や保護者への緊急時対
応のご連絡を行います。欠席等のご連絡は
ご自身または保護者にてお願いします
- **緊急時の病院の選定や服薬等の判断**
病院の選定はハウスマスターの判断のもと行
い、服薬等の判断は医師の指示に従います
- **緊急時の一次対応以降のサポート**
緊急時の一次対応を行った後（初診以降）の
サポートは、緊急時支援者へご相談をお願い
します

2 業務内容：緊急時支援者（対象：ありこや入寮生）

お引き受けできること

- 緊急時の一次対応以降の通院の送迎及び同伴
緊急時の一次対応を行った後（初診以降）の病状等が回復するまでの通院の送迎や同伴
- 緊急時の一次対応以降の経過報告
緊急時の一次対応を行った後（初診以降）の通院の送迎及び同伴を行った際の状況について、LINEワークスで報告

お引き受けできないこと

- 緊急時の一次対応以降の継続的な支援
買い出しや炊事等の家事
- 行政手続き等の送迎
公共交通機関が利用できる際の送迎
- お金の立て替え
緊急時を含め、金銭の立て替え

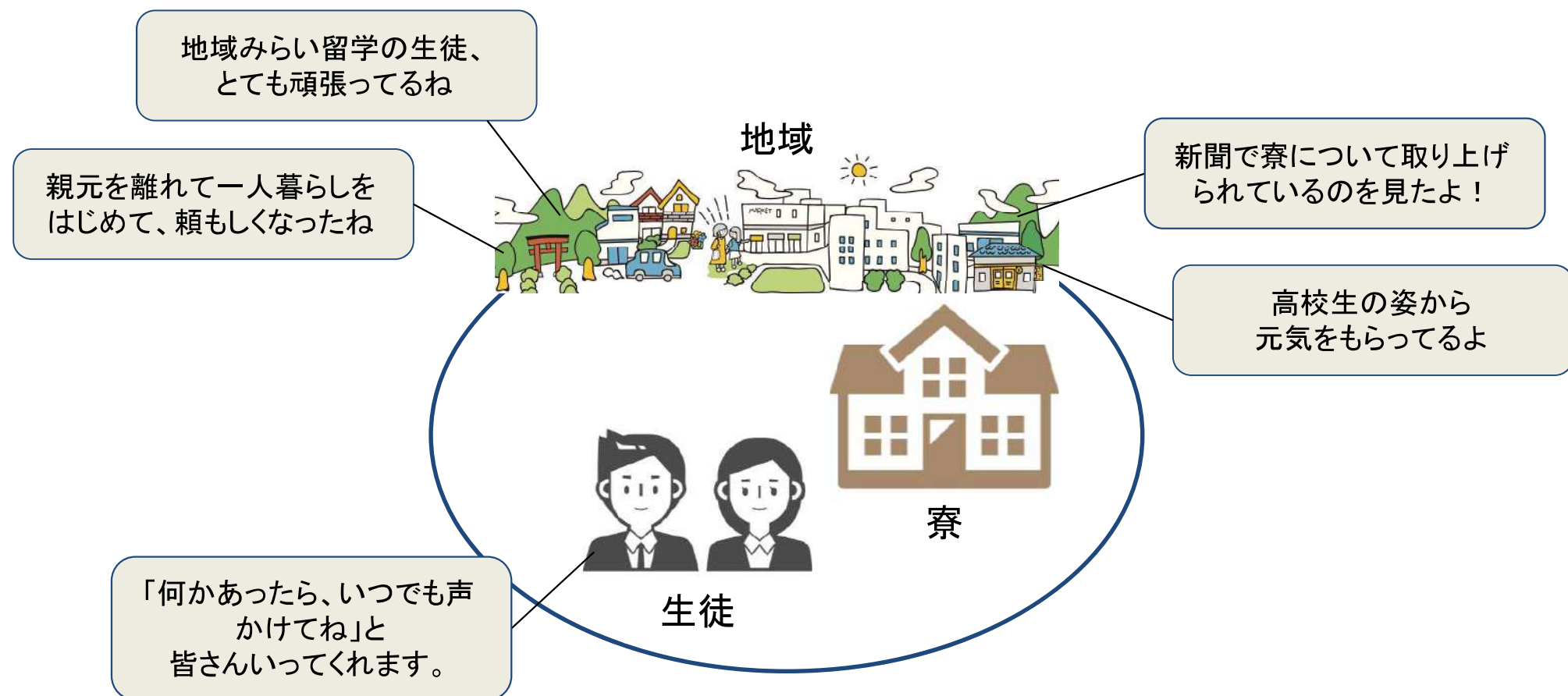
※ありこや入寮生については可能な限りのサポートは行いたいと思っていますので、何かあればご相談ください。できる限りのご対応を考えさせていただきます。

寮運営の1年目は、いろいろなことが起こります。
「〇〇が発生したがどう対応する？」
という状況になったときに、1番大切なことは、

- ・どこで決めるか（会議体）
- ・誰が決めるか（意思決定者）が決まっていること。

3月までに必ず決めておきましょう！

高校生が生活する寮がある地域の風景は、どんなものでしょうか？



寮がある地域の未来

地域で生活し、卒業した生徒が留学先の地域に残ったり、他の地域に就職して、今度は受入側として活躍する事例もあります。

<礼文 礼文高「最北島」の留学生>下 「1期生」半数残って就職

会員限定記事

2023年11月10日 9:59

あとで読む



「島に居残しがしたい」と、礼文町役場で働く黒田鈴百さん。



2020年度から生徒の全国募集を始めた宗谷管内礼文町の礼文高から今春、「留学1期生」にあたる島外出身者8人が卒業し、このうち4人が島内で就職した。千葉県松戸市出身の黒田鈴百（すもも）さん（18）は礼文町町民課で業務に勤む。「島に来て前向きな自分になった。その恩返しをしたい」と島に残ることにした。

この地に残り 貢献したい



町の留学支援制度 1期生5人、今春卒業

「同じ働き方（1）」と、それ以外に留学支援制度があった。礼文町の「留学支援制度」は、町内の高校から卒業した生徒が、町内の企業や団体で働くことを支援する。この制度は、2020年度から始まり、今年で3年目を迎える。今年度は、1期生5人が卒業し、このうち4人が島内で就職した。千葉県松戸市出身の黒田鈴百（すもも）さん（18）は礼文町町民課で業務に勤む。「島に来て前向きな自分になった。その恩返しをしたい」と島に残ることにした。

遊佐高の県外出身2人 東北公益大に進学

湧別高の魅力発信 協力隊・田中さんが「コーディネーター」に 離島留学の経験生かし活動

金井彩乃 毎朝記事

2024年3月15日 18:52(5月15日 19:01更新)

あとで読む



「生徒たちと積極的にコミュニケーションを取っていきたい」と笑顔で話す田中莉苗さん。

県内最年少の協力隊着任 神奈川県出身の市川さん 喜界町

2022年04月14日 政治・行政

いいね！ 177 シェアする

ポスト

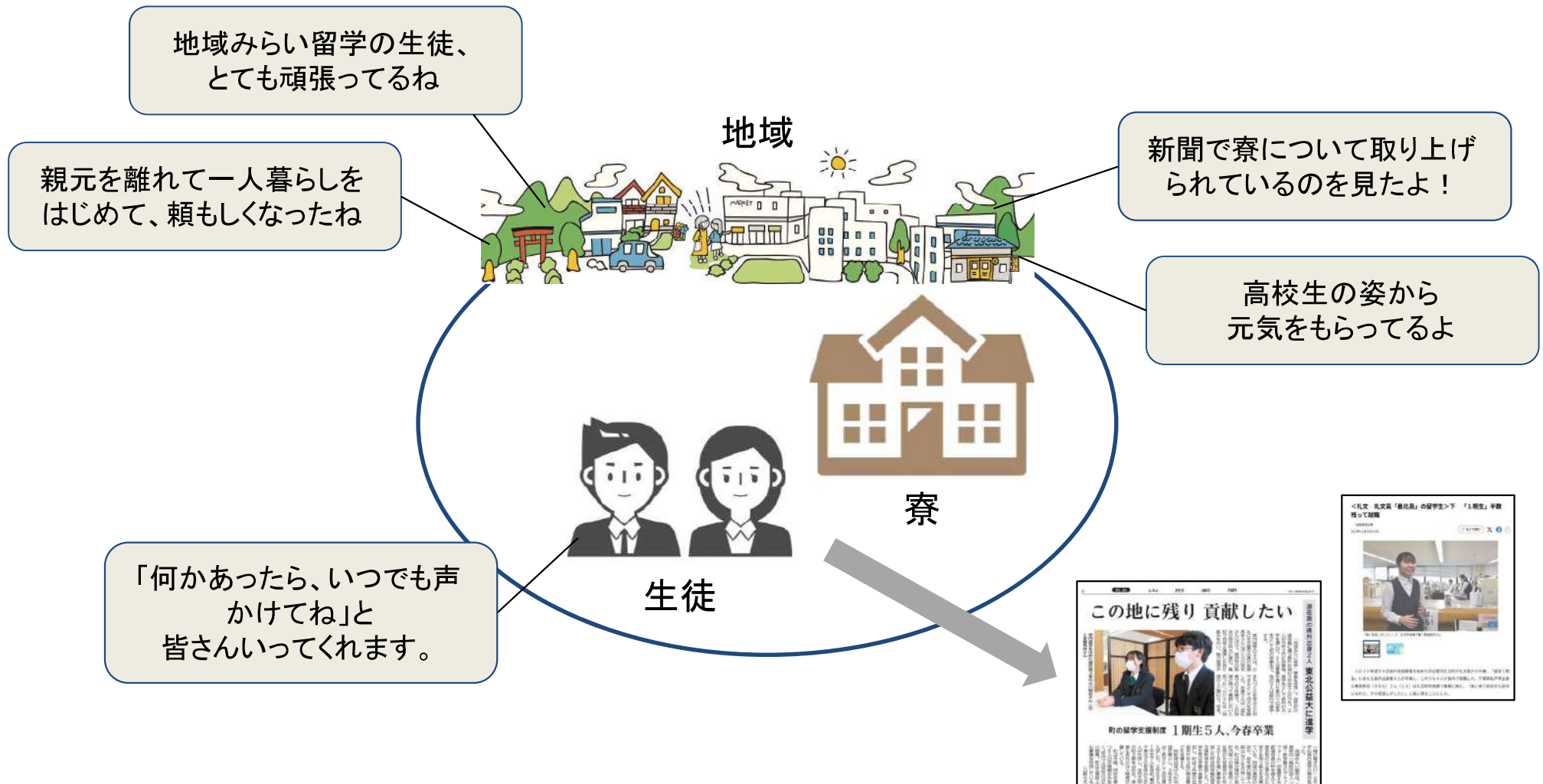


県内最年少の地域おこし協力隊として喜界町に着任した市川さん＝11日、喜界町商

喜界町に今年度から、今春に高校を卒業した市川萌笑（もえ）さん（18）＝神奈川県相模原市出身＝が地域おこし協力隊として着任した。市川さんは島根県海士町の高校で3年間を過ごした島留学の経験を生かし、喜界町が官学連携で取り組む喜界島の離島留学「サンゴ留学」の周知や制度設計を担う。県地域政策課によると、県内自治体ではこれまで高校卒業後すぐに地域おこし協力隊として着任した事例はなく、市川さんは県内最年少の協力隊として活動する。

市川さんはさまざまな目的・目標を持ち、価値観が異なる同世代との交流や自然に親しむため、古里を離れて島留学の先進地として知られる島根県隠岐諸島の隠岐島前高校に進学。官民挙げて島留学を支える地元の体制を肌で感じてきた。

寮運営はまちづくり



寮整備・運営の伴走支援

全国生徒募集をするにあたり、生徒を受け入れる寮は必要不可欠です。しかし、高校生を対象とした寮の整備・運営はノウハウがないと難しかったり、業務負荷が高くなったりする傾向にあります。

弊財団では、寮の整備・運営負荷を削減するために、参画校のご状況に応じて、ノウハウの提供、実施体制の構築、および寮運営関係者の育成を伴走支援します。

